

迫り来る大震災！！

災害時に問われる工務店・ビルダーの社会的責任とは？

家屋倒壊と液状化被害の現状と今後の対策！
天災だからではすまされない！

無料セミナー

ご案内

11月1日(木)13:30～17:00
高崎市総合福祉センター 2F
たまごホール 定員300名

LIXILグループが工学博士や住宅紛争専門の著名弁護士を招いて地震災害に関する無料の地盤セミナーを開催します。
この機会にぜひ、ご参加ください。

『危ない住宅地盤の真相と東日本大地震における液状化被害』

講師 大和 眞一氏(工学博士)

わが国の戸建て住宅は沖積層と呼ばれる軟弱な低地か、洪積層と呼ばれる良質な台地のどちらかに建っています。住宅の不同沈下事故はどちらで起きるか。多くの人は軟弱地盤でたくさん起きると思っています。しかし、近年は良質な地盤で多く起こっています。この真相についてJHS社60万棟保証の中から実例で説明します。更に危ない住宅地盤を容易に見つけることができる最新の『SDS調査法』についても説明します。

一方、東日本大地震では関東で2万戸の住宅が液状化被害を受けました。このうち浦安市だけでも8000戸、千葉県全体では12000戸もの住宅が不同沈下「液状化」なる用語は昭和39年の新潟地震で川岸町アパートが多数転倒したときからはじまります。これ以降はどのような地震が起きても必ずどこかで液状化は起こっています。

ビルやマンションであれば支持杭などを使えば容易に対処できます。しかし、戸建て住宅ではどうすれば良いのでしょうか。今回は浦安市の被害と、どのような対策をとっておけばよかったのか、などについて説明します。



『住宅業界における地震災害に対する法律見解』

講師 秋野 卓生氏(弁護士)

地震災害、そのとき私達は…

地震発生直後から住宅会社の皆様より様々な法律相談が法律事務所に寄せられています。そこで、地盤に携わる仕事をしている弊社として住宅会社の皆様に地震に関連した法律相談の内容とそれに対する法律見解を住宅業界専門の法律事務所 匠総合法律事務所より代表弁護士 秋野先生をお招きし、ご説明させていただきます。



【講演内容】

1. 「危ない住宅地盤の真相と東日本大地震における液状化被害」
■講師: ジャパンホームシールド株式会社地盤研究所 所長(工学博士) 大和 眞一氏
2. 「住宅業界における地震災害に対する法律見解」
■講師: 匠総合法律事務所 代表社員(弁護士) 秋野 卓生氏
3. LIXILグループからのご提案

LIXILグループからのご提案(震災時代におけるビルダー様からお施主様への安心の裏付け)

- ①【JHS】 地盤補強工事率約2割低減のSDS調査方法による適正な地盤調査判定サポート
- ②【LIXIL】 耐震等級3相当・耐震補償付スーパーストロング構造体バリューと長期優良住宅・性能評価申請の設計サポート
- ③【JIO】 長く安心して暮らすための住まいの安心をサポート

記

日時 2012年 11月 1日(木)
開場 13:00 開始 13:30 終了 17:00

会場 高崎市総合福祉センター(たまごホール)

住所: 群馬県高崎市末広町115-1
TEL: 027-370-8822



キリトリ線

『地震セミナー』参加申込書

御社名	
御住所	
御芳名	

※ 誠に恐縮ではございますが、上記の申込書に記入後、お取引の代理店様・特約店様・販売店様・または弊社担当営業にお渡し下さるか、左記までfax送信をお願い致します。⇒FAX 027-364-7691

主催 ジャパンホームシールド(株)(JHS) 協賛 (株)LIXIL (株)日本住宅保証検査機構(JIO)